

**建築・空間分野 | 学校** 010  
**神奈川大学29号館**  
 (有)鈴木アトリエ一級建築士事務所、学校法人神奈川大学、(株)キーテック、(株)ストローク、アルス(株)、BI設計、K\_設計・計画室、テーテンス事務所



**概要**  
 防火規制の厳しい都市部で本質的な木造を実現するための挑戦である。表層面に木材を貼り付けたハリボテ建築に陥ることなく、木軸躯体を構造としてそのまま表し、消防法の規制をクリアしつつ柔らかな木質の表情と香りを楽しめることは物事の本質を極める大学という場の施設にふさわしい。LVL材を構成する薄くスライスした木材が幾重にも積層して大空間を成立させていることは、実際に空間を体験していただくと圧巻である。

**評価ポイント** 大学の校舎における取組として、LVL材の使い方を前面に押し出している点に提案性がある。フレーム構造による空間利用の自由度が高い点も学校建築においては大切な視点である。

**建築・空間分野 | オフィス・会議施設** 007  
**ITOKI Tokyo Innovation Center SYNQA(シンカ)**  
 (株)イトーキ、物林(株)、下川町森林組合、(有)古屋製材所、山口製材所(株)、河野興産(株)、(株)ビックウイル



**概要**  
 イトーキは2010年より、地域材の活用を通じ、デザイン性の高い家具や内装としてオフィスや都市部の空間に取り入れるソリューション「Econifa(エコニファ)」を行っており、CO<sub>2</sub>の固定化、森林の生物多様性の保全、地域経済の活性化まで、地球環境保護と社会的課題の解決に貢献しています。これらのモデルケースとしてのSYNQAは、RC建築物のオフィスとしては日本で初めてFSC®プロジェクト認証・全体認証を取得しています。1F内装で使用している全ての木材が、FSC認証材または管理された木材として持続可能な森からのものです。

◆<http://www.synqa.jp/>  
**評価ポイント** 地域材の使い方を例示し、設計者やユーザーへの気づきを提供、木材需要を喚起する仕組みを空間構成も含めて形にしている。

**建築・空間分野 | 病院・福祉施設** 011  
**みやむら動物病院**  
 (株)ATELIER OPA、(有)ビルディングランドスケープ一級建築士事務所



**概要**  
 LVL(単板積層材)厚板壁による1時間準耐火認定構造「木層ウォール」を採用した、3階建て木造建築です。全国LVL協会と共に開発に参画し、準耐火都市木造建築の先駆けとして使用しました。主立面である南面外壁と東西面外壁及び内部構造壁の一部に構造材としてLVL厚板を用いています。これは厚さ150mmの構造体であると同時に、無被覆で外壁として1時間準耐火の大匠認定を取得しており、2層吹抜の南側壁面には、単板を積層させた美しさを持つ積層面をあらわして使用し、木質素材の持つ魅力を引き出しました。

◆仕様:LVL厚板+木造軸組ハイブリッド構造  
[www.atelier-opa.com/](http://www.atelier-opa.com/) [www.buildinglandscape.com](http://www.buildinglandscape.com)  
**評価ポイント** 意匠性の面白さを持つ印象的な建築で、LVLの積層面の使い方に独自性がある。木材を使うことによって敷地の制約をクリアしている。

**建築・空間分野 | オフィス・会議施設** 008  
**木材会館**  
 (株)日建設計



**概要**  
 施主である、東京木材問屋組合の本部ビル。都心の大型建築における木材の復権を目指し、木材の可能性を追求した。避難安全検証法を用いて内装不燃の制限を除外し、耐火検証法と構造の認定を受け、木材を不燃化することなく内装材、外装材、構造材に用いた。標準的な角材を大量に用い、木の文化の基盤をなす日本風土の木と空間の再構築を試みた。設備や構造やサーキュレーションを配した半屋外の空間によってオフィスを囲み、現代の「縁側」空間を作った。日射を防ぎ、風を取り込む木質の外装は、日本型の新しい形のスキンの提案でもある。

◆<http://www.mokuzai-tonya.jp/gallery/index.html>  
**評価ポイント** 都市部において無垢材を大量に使う方法に意欲的に挑み、圧倒的な木の存在感を感じる建築物となっている。

**建築・空間分野 | 公共施設** 012  
**南陽市文化会館**  
 山形県南陽市



**概要**  
 音楽は、耳だけでなく、視覚・触覚・嗅覚など五感すべてで感じるもの。このホールは、南陽の森の木でつくられた。日本初の大規模木造耐火の文化ホールです。木造ならではのやさしい質感、心落ち着く木目調、木の温かみ、そして香り。目を閉じて五感で感じれば、まるで南陽の里山にいるような「静けさと響きがい空間」があふれてきます。

◆<http://nanyoshi-bunkakaikan.jp>  
**評価ポイント** 公共施設であり圧倒的な木を感じる空間づくりである。音響空間、大規模耐火木造ホールとしての完成度、地域資源活用への貢献の点から評価した。

**建築・空間分野 | ホテル・旅館** 009  
**ホテル&レジデンス南洲館**  
 根本修平、第一工業大学工学部建築デザイン学科根本研究室、ホテル&レジデンス南洲館、(株)カゴシマ船場



**概要**  
 シングルルーム2部屋をつなぎ、最大6名が宿泊できるファミリールームに客室を改装しました。交流の場であるダイニングとベッドルームで構成され、将来はドミトリとしても利用できるように計画しています。ベッドなどの家具類には、可能な限り木材を採用し、積極的に木質化を試みました。用いた角材は、通常下地に使用される小断面部材です。大量に使用しても安価に整備できるように設計したほか、熟練工ではなく大学生でも施工できるように、単純な作業を繰り返すことによる形態が得られる工法を採用しました。

◆仕様:スギ角材并桁組 <http://sn2studio.jp/>  
**評価ポイント** インバウンド旅行者の受け入れ等、今後の需要が見込まれる分野において、木材をうまく活用しつつ利用形態を広げる発信性ある提案である。

**建築・空間分野 | 店舗・商業施設** 004  
**Kaido Books & coffee**  
 やまなし水源地ブランド推進協議会、(株)しながわ街づくり計画、小室+下司建築設計事務所、品川区商店街連合会、北品川商店街共同組合、(株)HUG、(株)イトーキ



**概要**  
 街道がつなげる連携をコンセプトに、地方の情報をリアルに発信していく拠点です。店内の什器は品川区とふるさと交流協定を締結している山梨県早川町が参画している「やまなし水源地ブランド推進協議会」が手がけた山梨県産材を使い、また株式会社イトーキが手がけた東京都多摩産材を使って国産材の魅力来店される方々に発信しています。2階の床は里山に多く植林されたクヌギをフローリングとして敷きました。近所の小さいお子さんが裸足でその温もりを感じており小さいころから木の良さを感じることが出来る木育空間にもなっています。

**評価ポイント** 内装のリノベーションを什器の活用などで工夫し、木質空間の居心地の良さを体感できるものになっている。地域の木育空間としての役割も担っている。

**建築・空間分野 | 店舗・商業施設** 005  
**Brooklyn Parlor 博多**  
 (株)乃村工藝社、(株)ティンバークルー



**概要**  
 国産材にてウッドブリックを製作。それを内装材としたプロジェクトです。新しい木の表情を探索しレンガの代用として木を使い空間を構築しています。ブルックリンの倉庫のイメージを持つ空間を依頼された経緯があり、レンガを使うのではなく日本のオリジナリティを持つレンガを使用する事を提案しました。ライブ会場として柔らかく音も反響する事もウッドブリックとしての特性です。カフェレストランとして、見た目によくかつ居心地よく過ごして頂く為に天然木の塊を使用しました。ソリッドかつ柔らかな印象と居心地の良さを空間の表現として実現しています。

**評価ポイント** 飲食空間としての快適性を求めた木質素材の使い方、トータルデザインの質の高さは評価に値する。音楽演奏時の音の反響にも配慮がある。

**建築・空間分野 | オフィス・会議施設** 006  
**大阪木材仲買会館**  
 (株)竹中工務店、大阪木材仲買協同組合、銘建工業(株)、(株)末永製作所



**概要**  
 木の表情があふれる耐火集成材を採用するとともに、メンテナンス性や防災の観点からも木材の特性を生かす工夫を施し、外装内装ともにふんだんに木材を用いることで、都市において、「コンクリートと鉄の街」を「木の森」に変えるビルディングモデルを追求した。地域に親しまれてきた2本の桜を緩やかに囲むように木の表情を表出し、構造も、内部の居室空間も木によって構成された「都市の中の森」である。桜の木とそれを囲む軒庇空間は街と人と建築を緩やかに繋ぐ中間領域として、建物の外の人、内の人それぞれに木を中心とした心地よい体験を提供する。

**評価ポイント** 都市での木造オフィスビルの可能性を示した。木造とRC建築物の棲み分けが明確でかつ、巧みである。

**建築・空間分野 | 店舗・商業施設** 001  
**野菜倶楽部 oto no ha Café**  
 鹿島建設(株)、羽羽建(株)、住友林業(株)



**概要**  
 雄大な富士の威容を望む自社農場で、有機無農薬野菜として大事に育てられた豊かな恵みを楽しむための空間である。目白通り沿いは耐火建築物が要求される一方で、敷地のコンテクトや空間の性格を考慮すると、建物は自然材料特有の豊かさややわらかさを感じられる木造がふさわしい。木造耐火建築物は、法的要求から通常は不燃材に覆われ、木造であることが感じられなくなるが、本建物は純木質耐火集成材である「FR ウッド」を建物中央3列の十字型柱・梁に用い、建物の骨格である木そのものを表面に現した耐火建築物とした。

◆<http://www.kajima.co.jp/tech/mokuzou/index.html>  
**評価ポイント** 豊かな木質感を発揮しながら、耐火木造建物を実現した点を評価した。都市における木のある暮らしの質向上に寄与するものである。

**建築・空間分野 | 店舗・商業施設** 002  
**CLT仮設店舗(ウッド・キオスク・プロジェクト)**  
 札幌駅前通まちづくり(株)、物林(株)、(株)ノーザンクロス、アトリエオンド一級建築士事務所、桜設計集団一級建築士事務所、(株)カムズ・コンストラクション、(株)エーステック



**概要**  
 全国で初となる北海道産カラマツ材を使用したCLT工法により製作した、屋外イベント向け「CLT仮設店舗」を開発しました。北海道産木材の需要拡大や、また馴染みの薄いCLT工法の周知を図るほか、公共空間と調和する優れたデザインと、イベントでの実用性を兼ね備えた建築物になるよう開発を進めました。北海道内や各地でのイベントにも幅広く貸し出しを行い、公共空間で行われるイベントの「デザインの質の向上」に寄与します。

◆仕様:CLT造(北海道産カラマツ材)W2,970×D2,220×H2,518、価格:レンタル価格はお問い合わせ  
<http://www.sapporoekimae-management.jp/contents/clt/>  
**評価ポイント** カラマツ材を使用したCLT工法による仮設店舗であり、CLTの用途拡大に貢献する取組である。仮設に必要な条件が押さえられておりイベント等での活用が見込まれる。

**建築・空間分野 | 店舗・商業施設** 003  
**Soup Stock Tokyo**  
 (株)スマイルズ



**概要**  
 2010年からSoup Stock Tokyoの新店舗の内装材に産地を特定出来る国産の木材を活用する取り組みを始めた。アトレ四谷店では宮崎県諸塚村のクヌギやコナラを使用しています。椎茸栽培用に植林された木が必要な低迷により山林に残っておりその木を有効に活用するための取り組みです。毎年諸塚村の小学生の東京研修では朝食を召し上げりにお越しいただき、3年前からは諸塚村で共催のスープレストも行うなど産地との連携も深まっています。

◆<http://www.soup-stock-tokyo.com/store/13/1007/>  
**評価ポイント** 飲食店舗の内装木質化を産地と組み、意匠性の高い上質な空間づくりに取り組むとともに、人の交流も含めた活動につなげている点に提案性がある。